

2019.5.15

## 掃除の時間

長..長..連休が終わり、生活のリズムを崩してしま..通常王トに戻すのが  
苦労される方もいるかも知れません。今年のGWは本当に長かったです。

連休中想..想いの過ごし方をされたと思..まかん、読書された方(仕事に役立つ)は  
どれくらいおもしろしかった? 私は読書は成長のワープだと考えています。大器晩成と言うと裏技で  
モテから忙しいスケジュールだとしても僅かな時間を削りながら 読書の時間を作り出すように  
心掛けています。 連休中は大チャンスですね。 研修も読み方から伝えた事が済んで  
いますか、今月は新人研修が終わり 実際に店に入って働き始めたのでこのテーマにしました。  
スバル店長に聞きます。 店に来た新人に。

「ルートに同行して」「誰々に同行して」 という指示を出しているだけで、他の指導が疎かにな  
るってほんせんか? センタの研修が台無いなります。

樂をしてはいけません 店長は新人の人生を背負っていかなければ。

社員としての基礎は体力は実験以外の所、「考え方」と「習慣」にあると、入社式に始まり  
研修期間を通して伝え続けました。 店に入ってからも継続して教育して下さい。  
質の良..質の良..社員を生み出します。

伝えられる事はありますか、一つだけ提案するならば、

新人には掃除を徹底して教えてください。

中には掃除の仕方は覚ても、道具の後始末や周辺の片付けが出来ないなど、基本的な教育が  
必要な場合もあるでしょう。 親に小さなつもりで教えて下さい。

それ次習慣になると、毎日毎日継続して下さい。

掃除の時間を作るのです。まだ作っていない所は、店全体で行ない全員でやりましょう。

新人だけにやらせては、うまくいかないと思います。

二宮尊徳(金次郎)は財政重建の主導者 農業政策のコンサルティング?としての  
活躍が有名ですが、こんなエピソードがあるそうです。

ある時、尊徳は貧い農家から相談を受けました。

「先生、私は朝早くから日没まで働きうめですが一向に暮らしが良いありません。

どうしたら家計が楽になるでしょうか?」

尊徳は早速農家を訪れました。

家の中に入ると、十間や部屋に色々なものが散乱している

2019. 8. 15

No.2

がまくわ

納屋を見て回ると 鎌や鉄火などが無秩序に置かれている。  
農具には、土に埋められてしまつて、たらかしいにされているものまである。

すぐに尊徳は問題点を見抜きました

「今日から家中、納屋、庭などをキッチン片付けて掃除をしよ。そしてそれを毎日徹底しない」

つまり、 いらぬ、物を捨く。 (整理)

物が見取りやすいように並べ (整齊)

ゴミや汚れがなつたうにする (清掃)

という、3つがされている。事を指摘したのです。

「貴先生だと思っていましたのに、口吻に諷刺もせずに言う事は掃除だけか」

農家の主は尊徳に相談炎した事を少し後悔ほじたが、とりあえずその日から家の掃除にとりかかりました。

不要な物を捨てていくと、狭いと思っていた納屋はスペースができました。

納屋の土の中から見つかなかつた道具が出てきました。出で来た農具のひとつひとつ手入れしてみると意外にも使える物が多くありました。

この大掃除の後は、朝烟に出る時も農具を取り出すのに5分しかかからなくなつた、どうせ日

程なくしてこの農家の暮らしにはゆとりが出来はじめ、家計も少しずつ豊かになってきたと喜んでいた。

パナソニックの創設者 松下幸之助も、松下政経塾で、まず掃除の徹底を話したと言いますし、業績不振の会社再建とM&Aで急成長、有名になった日本電産の永守慎也も、よく行っていた、会社の工場が奇麗だった所は一箇所も無けたと書いています。

戦場が奇麗だと心も整います。すると人間関係も良くなります。

物を大切にする気持ちも育まれます。経費が節減され、利益も還元できます。

いつお客様が来店されても大丈夫。と、自分の会社に誇りを持てます。

物がどこに、どれだけあるかがすぐにわかるので、探す無駄な時間が省け、生産性が上がります。掃除の割り合いで決めて、準備の仕方、掃除の仕方、仕上りにも注意を払って見てあげ下さい。ダスキンは奇麗を提供する企業です。基本中の基本を教えて下さい。

話を読書に戻りますが、様々な失敗や、成功の経験をしている。自分よりもはるかに優秀な人が、これは良い方法だとか、こうすればうまく行くと教えてくれているのに耳を貸さず、失敗を繰り返す。または、目の前の仕事を忙しいし、学ぶ時間が無い。と、言い。

何をしたら良いかわからない、あるいは問題解決を遅らせたり、先日の事を考えて手を打たない。

2019.5.15

No.3

---

何もせずに立ち止まつてしまい前に進もうといい。

或いは、面倒くさい、自分の代では潰れる事はないだろうからと何も考えない。

これは人は何かを教えられる筈がありません。

新人が入店していくとも同じ事です。

まずは自分が本などから知恵を先取りして学ぶ事が必要です。

子供なら、ゲームを上手に進める為に先の状況を調べて攻略していきますよね。

私達も、学んだ中から揺るぎない信念や自信が生まれ、指導力に磨きがかかる、  
的をとらえたアドバイスが提供できるようになります。

会社は、あたかも下っているエスカレーターに乗っているのと同じです。

下るスピードよりも早く足を動かさなくてはなりません。

体力を鍛えつつ、エネルギーを上手に使いながら足を動かす方法は常に学び続けね  
くことはありません。

今月のテーマは「掃除の時間」ですが

店主尊く者には、「学びの時間」がつかせません。